# 介護保険「主治医意見書作成用」問診票(<u>※医療機関保管</u>) <u>配入日: 2021 年 4 月 1 日</u>

ふりがな	やまと たろう				〒 242− 0007				
本人氏名	大和 太郎			住所	大和市鶴間1-1-1 電話: 046 - 123 - 4567				
性別	男女	生年月日	明治·大正(昭	和·平成: 20	9 年 3 月	25日(76才)	世帯状況	□独居	☑同居
この問診票を提 病院(主治医)以 通院している医療 有無	外に	□なし ☑あり □わからない	•	□内科 □精	神科 □外科	<b>いる科を☑(チェ</b> ☑整形外科 □ 科 □リハビリテ	脳神経外科〔	]皮膚科	
※記入者氏名 (事業所名) 連絡先		<b>क</b> : (	)	本人との 関係		※同意欄	(※記入者が本人・別	家族の場合は不要)	)

※「記入者氏名欄」について、やむを得ずケアマネジャー等がこの問診票を記入する場合には、記入者氏名欄に事業所名と氏名、連絡先を 記入し、必ずご本人またはご家族に内容を確認してもらった上で、同意欄に署名をいただいてください。

それぞれ該当する項目に②(チェック)を付けてください。

<b>今回の介護保険の申請は、☑</b> 新規  □更新  □区分変更 <b>です。</b>
<b>今回の介護保険の申請理由は、</b> □調理ができない □買い物に行けない □洗濯ができない ☑ お風呂に入れない
□薬の管理ができない □一人でトイレに行けない □歩けない ☑筋力低下がある ☑家から出ない ☑介護負担がある
□物忘れがある ☑ ベットを借りたい ☑家を整えたい(段差や手すり等) □その他(
生活に支障が出ているため、申請を行います。
□今回は更新申請で、前回の状況と変化はありません。
希望するサービス(利用することで問題を解決できるもの)は、
口訪問診療 🗹 訪問看護 口訪問歯科診療 口訪問薬剤管理指導 🗹 訪問リハビリテーション 🗆 口短期入所療養介護
□訪問歯科衛生指導 □訪問栄養食事指導 □通所リハビリテーション □訪問介護 ☑通所介護 ☑住宅改修 ☑福祉用具
□その他のサービス(□特別養護老人ホーム □老健 □療養型病院 □その他:
現在、生活や介護を行う上で、困っていることがあればご記入ください。
老々介護で大変だ。

### ①、②の日常生活の自立度等について、それぞれ該当する項目に一つだけ②(チェック)を付けてください。

①現在のお体 に近いものは どれですか? (寝たきり度)		身体の不自由なところはない	(O)
		交通機関(バス・電車)を利用して、かなり遠くまで外出できる	(J1)
		隣近所なら一人で買い物や老人会の参加など外出する	(J2)
		日中はベットから離れて生活しており、誰かの介助があれば外出できる	(A1)
		あまり外出しないで、日中は寝たり起きたりの生活をしている	(A2)
		車椅子に乗り降りは一人でできる。食事やトイレも介護者の援助を要する	(B1)
	Ø	車椅子に乗り降りするも一人では難しい。食事やトイレも介護者の援助を要する	(B2)
		一日中ベッド過ごし、食事・トイレ・着替えなどにおいて介助を要し、自力で寝返りはできる	(C1)
		ー日中ベッド過ごし、食事・トイレ・着替えなどにおいて介助を要し、自力で寝返りはできな い	(C2)
②現在の物忘 れ(認知症状) 近いものはど れですか?		認知症はない	(0)
		物忘れなど軽い認知症状はあるが、日常生活はほぼ自立している	(I)
		それまでできていたことに、ミスが目立つようになったなどの症状があるが、誰かが注意す れば自立できる	( II a)
		薬を飲み忘れたり、電話や来客との対応ができないなど、一人で留守番ができない	(IIb)
		着替え・食事・排便・排尿などが上手にできない、徘徊などの症状により、日常生活に困難 をきたし、介護を必要とする(→日中を中心として症状が出ている)	( <b>Ⅲ</b> a)
		着替え・食事・排便・排尿などが上手にできない、徘徊などの症状により、日常生活に困難 をきたし、介護を必要とする(→ <mark>夜間</mark> を中心として症状が出ている)	(шь)
	Ø	上記多彩な症状より、常に目を離すことができない。常時介護を必要とする	(IV)
		妄想・暴力・落ち込みなどがひどく、問題行動があり、専門医の治療を必要とする	(M)

次の症状はありませんか?					※各項目の、あてはまる選択肢に☑(チェック) をつけてください。			
5分・10分前のこ	とも忘れて	しまう( <b>短期記</b>	意)		□問題あり	題あり		
日付・時刻、居場所、身近な人の識別ができない。できることとできないとが自分で理解できない( <b>認知判断能力</b> )					□自立 □いくらか困難 ☑見守りが必要 □判断できない			
自分の意思が相手に十分に伝えられない <b>(意思伝達)</b>					☑伝えられる □いくらか困難 □具体的要求に限られる □伝えられない			
					起こりうる頻度・回数			
					<b>なし</b> (過去ーカ月間 に一度もない)	<b>ときどきあり</b> (1回/月以上、また は1回未満/週)	<b>ある</b> (少なくとも1回/週以上)	
見えないものが	見える、聞こ	こえないものが	聞こえる( <b>幻視・幻</b>	聴)	Ø			
物を盗られた等	の被害妄想	等がある <b>(妄な</b>	<b>!</b> )		Ø			
夜間眠れずに日	中の活動に	こ影響がある(!	<b>配夜逆転</b> )			Ø		
大声を出す、暴	力的な発言	・暴力を振るう	(暴言•暴行)		Ø			
介護者の助言や	5介護に抵抗	亢する( <b>介護へ</b>	の抵抗)			Ø		
目的なく歩き回る	る。外出する	ると一人で戻れ	ない( <b>徘徊</b> )					
火の始末や管理	▋が出来ない	ヽ(火の不始末	)				Ø	
便をいじる等の	不潔行為が	ある( <b>不潔行為</b>	<b>,</b> )		Ø			
食べられない物を食べてしまったり、口に入れてしまう( <b>異食行動</b> )					<b>∠</b>			
周囲が迷惑する	ような性的	行動がある( <b>性</b>	的問題行動)		Ø			
	精神・神	神経症状はあ	りますか?		□なし ☑あり <b>※ありの方は、下記に☑(チェック)をつけてください。</b>			
□言葉を話した	とり理解す	ることに問題フ	がある( <b>失語</b> )		✓順序がある工程や行動が出来ない(失行)			
口ろれつが回らない(構音障害)					□人の顔がわからない( <b>失認</b> )			
□変なことを口走ったり行動することがある( <b>せん妄</b> ) ☑ゆううつで悲観的な言葉が多い( <b>うつ状態</b> )				□けいれん発作がある( <b>てんかん</b> )				
✓ ゆっっつで恋	観的な言	楽か多い( <b>う</b> :	2 (不思)		□すぐに寝てしまう( <b>傾眠</b> )   診療科目:□精神科 □神経内科 □脳神経外科			
<u>の受診</u>	□その他(				)			
お体の状況に	ついてお聞	<b>れきします。</b>		<u>**</u>	あてはまる選択	₹肢に☑(チェッ・	<u>かをつけてください。</u>	
	利き腕	☑右 □左	身長	168 cm	体重	60 kg	半年前と比べて □増えた☑減った□変わらない	
身体の状態				デイサービス・ショートステイ等で測定されたものでもいいです。 よ、医療機関で測定し記入をお願い致します。				
	身体の中で痛みや動きにくい部分はある (例:痛み・震え・マヒ・筋力低下・拘縮)			□なし☑あり	足	<b>症状</b> : 筋力低下		
	床ずれや酒	显疹等の皮膚の	)病気がある	☑なし□あり		<b>症状</b> :□床ずれ □その他(	○湿疹	
	屋外でのお	步行		□自立 □	□介助があればしている ☑していない			
	車椅子の値	<u></u> 吏用		<b>☑</b> なし □	口主に自分で操作する 口主に他人が操作する			
	杖やシルノ	「一カーや歩行	器の使用	<b>☑</b> なし □	□屋外で使用 □屋内で使用(複数で選択可)			
	食事の摂耳			☑ 自立またはなんとか自分で食べれる □全面介助				
	尿の失禁			□失禁がある	る			

## ※ご本人・ご家族へ

この問診票は、主治医の先生が介護保険「主治医意見書」を作成される際に、日ごろの状況をさらに詳しくご記入いただく**補助資料**となるものです。必要事項をご記入の上、かかりつけの医療機関(介護保険[要介護認定・要支援認定]申請書の主治医(かかりつけ医)欄にご記入いただい た先生)に提出してください。

※主治医の皆様へ 主治医意見書ご記入の際に、参考資料としてご活用ください。

この問診票は、主治医意見書作成を支援する**任意**の書類です。(この書類の保管は、医療機関でお願いいたします)